



- 甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から
～ 一歩ずつ着実な歩みを進めましょう ～ 米山 俊彦
- あずさ部長主題：めあてを望み ピーター・マウントフォード (甲府)
- 東日本区理事主題：ワイズの方向を見極める 山田 公平 (宇都宮)
- アジア太平洋地域会長主題：大きなインパクトを起こそう ジョウン・ウォング (香港)
- 国際会長主題：より良い世界のために、共に A・シャナヴァスカーン (インド)

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2024年 11月
No.26

●今月の強調目標

BF・iGo・STEP

●今月のことば

「The Sense of Wonder」

福田奈里子 さん選

今月の例会案内 (第26回)

- 日時：2024年11月6日(水) 18:30～20:30
- 会場：シャトレゼホテル談露館
- 会費(食事代)：メンバー・ビジター3,500円
ゲスト:3,000円
- ・開会点鐘 米山 俊彦 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長あいさつ 米山 俊彦 会長
- ・今月のことば 福田奈里子 さん
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話「アマチュア天文家の天文ライフ」
アマチュア天文家 中澤 潤 様
- ・諸報告
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

Photo of monthly



10月5日(土)、やまなみクラブ主催 「やまなしグローバルフェスタ2024」に参加のメロンパン販売の杉浦政明さんとやまなみメンバー(甲府駅北口よっちゃばれ広場)

10月のデータ

会員数:11名 例会出席メンバー:6名
 ゲスト:菊池央人さん(山梨YMCA)
 例会出席率:55%
 メーキャップ:1名(大澤)
 修正出席率:73% ニコニコ:360円

ハッピーバースデー

該当者なし

アニバーサリー

該当者なし

今月のことば

福田奈里子

「沈黙の春」の著者、レイチェル・カーソンの遺作のタイトルです。wonderには、「感嘆する、思いめぐらす、不思議に思う」という意味があります。野外活動の中で子どもたちが「わあ！」と驚いたり、「なんで？」と聞いてきたり、静かに物思いにふけったりしている姿を見ると、ああ、wonderしてるなあ…と嬉しくなります。そして、わたしもそんな感性を持ち続けたいなあと願います。The Sense of Wonder＝神秘さや不思議さに目を見はる感性。たくさんwonderする人生は、きっとwonder-full (wonderful)な人生…なのかな。

● やまなしグローバルフェスタ 2024 ●

仙洞田安宏

前日からの天気予報にヤキモキして迎えた10月5日(土)、甲府駅北口のよっちゃばれ広場において、今年も「やまなしグローバルフェスタ」が開催されました。やまなみクラブ設立以降、共催事業として開催してきたこのイベントも、今年は初めてやまなみクラブが主催者となり運営しました。主催といってもこれまで通り藤原、松本両会員が中心になり、山梨YMCAのユース、県立青洲高校の若者たちの助けを借りての開催です。

8時前から雲行きを心配しながらのテント設営等の準備に入り、10時からスタート。やまなみクラブは米山会長と仙洞田がタイのスペシャルティコーヒー(1杯200円)販売を担当、また渡邊会員の息子さんがJC時代の仲間と牛たんの串焼きを、娘さんがアイシングクッキー販売のブースをそれぞれ出店して家族で貢献、YMCAのユースリーダー会はトロピカルジュースとタイの工芸品販売をしました。

このほか、山梨タイ友好協会、山梨台湾総会、甲斐市国際交流協会、キープ協会など15団体がブースを出展、各国料理のキッチンカー9台も加わり、文字通り国際色豊かな会場風景となりました。

さらに、台湾、ベトナム、ペルー、ガーナの、民族舞踊や音楽のパフォーマンスがイベントを盛り上げました。

事前の天気予報の影響か人出の出足はイマイチでしたが、時間と共に賑やかさを増し、まずまずの成果であったと思います。甲府クラブや甲府21クラブのメンバーにも訪れていただきました。雨も降ったり止んだりでしたので、予定より30分切り上げて終了としました。

甲府やまなみ参加者:米山・松本・藤原・渡邊・仙洞田・福田

10月例会(懇親会)

グローバルフェスタの会場撤収作業を終え、「魚そう北口分店」にて、10月例会と称した慰労会が催されました。冒頭、米山会長の挨拶では、本日の慰労と評価があり、反省点も踏まえて次回へ繋げたいと述べられました。

松本副会長の乾杯で懇親に入り、11月4日開催のYMCAバザーでのやまなみの担当するコーヒー販売等の打合せや、各自の近況報告などで盛り上がりました。

出席者:米山・松本・藤原・仙洞田・福田、ゲスト:菊池央人さん(山梨YMCA)



【山梨YMCAユースのブース】



【台湾の民族舞踊のパフォーマンス】



【県内在住のガーナ人と】



【各自疲れきった表情の懇親会】

★ あずさ部部大会に参加して ★

米山 俊彦

やっと秋の気配が感じられるようになってきた10月19日(土)、笛吹市のシャトレゼホテル石和で開催された「第28回あずさ部部大会」に甲府やまなみクラブから仙洞田、大澤、藤原、福田さんとともに参加しました。遠くは、十勝クラブの山下東日本区次期理事をはじめ、富士山部のメンバーの参加もあり、総勢75名の盛大な部大会でした。

ホストクラブの甲府クラブ小倉会長による歓迎の挨拶に続き、ピーター・マウントフォードあずさ部長からは、部大会への参加のお礼がありました。

野々垣山梨YMCA理事長の祝辞、大和田東日本区書記からは、東日本区の現況報告と、「サポートファンド献金」のお願いと来年6月の東日本区大会(宇都宮市)への参加要請もありました。表彰の授与では、甲府21クラブの佐藤重良東日本区直前理事へ国際協会ブースター賞の授与が行われました。

続くユースアワーでは、中国出身の信州大学4年生キンチクさんとタイ出身の1年生ワチラウワイトさん、2人が能登半島地震復興支援のワークキャンプへ参加した報告がありました。日本に住む自分達がサポートされる

だけでなく、少しでも被災者の力になれた喜び、そして、これからの夢ややりたい事などについて、流暢なわかりやすい日本語で話してくれました。

次に、山梨YMCAユースの本田さんからタイで開催されたワイズ国際大会への参加とバンコクYMCAを訪問した報告がありました。次の時代を担う若い人達が、国境を越えて交流を行い、様々な経験をする中で成長し、それが社会の発展に繋がっていく事を期待して、私達もそれをしっかり応援していきたいと思います。

その後の会食懇談は、山梨YMCAユースメンバーによる元気なパフォーマンスや会場の参加者も巻き込んだゲームや合唱が行われ、会場が一体となって和やかな楽しい雰囲気での会食でした。

閉会後は、ホテルのロビーでシャトレゼグループ恒例のアイスクリームの食べ放題を思い思いに楽しんだ後、さらに希望者はエクスカージョンとしてワイン工場見学へ向かいました。

今年の部大会は、東日本区の理事主題にあります“ユースエンパワーメント”をテーマに掲げ、ユースの活動報告や山梨YMCAユースメンバーによるパフォーマンスなど、“ユースエンパワーメント”を強く感じた部大会でした。



八王子クラブ 30 周年記念例会

渡邊 隆

10月26日(土)、東京八王子ワイズメンズクラブ30周年記念例会に仙洞田会員と出席してきました。日本の経済活動が「失われた30年」と言われる前の絶頂期だったと思われまます。八王子クラブチャーター間もなく、東日本区の部編成が行われ議論の末、あずさ部と命名された当時が思い出されました。

例会では並木真会長の点鐘から、東京YMCA星野副総主事、東日本区山田公平理事の祝辞、そしてあずさ部28代部長ピーター・マウントフォードさん(英国を代表するハリスツイード・ジャケット、リバティー柄のシャツを着用)のユーモア溢れる話を頂きました。

山下真次期東日本区理事は十勝から、淡路島より

八王子クラブ設立の立役者奈良昭彦さんから設立当時のエピソードを聞くことが出来ました。そして大勢のあずさ部の仲間と懐かしむことが出来ました。

八王子クラブは若いクラブではありませんが、松本・長野と同じようにYMCAの設立を目標に活動を重ね、地雷廃絶キャンペーン音楽コンサート、中央大学学Yの活動のサポート、台湾高雄Y'sとの交流などは、若い世代に任された事業が継続され、我がやまなみY'sのメンバーも学びの機会が得られると感じました。

共にあずさ部のクラブとして積極的に交流を深め、やまなみワイズの事業活動の幅を広げることができると感じました。演奏会も行われ、盛り沢山の内容でした。



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「ユースボランティア+シニアボランティア」

先日、石和温泉で開催されたあずさ部部大会に参加し、改めて若者たちの可能性と世代を超えた交流の重要性を実感しました。甲府ワイズメンズクラブのご配慮により、ユース報告や交流の時間が設けられ、若者一人ひとりが輝ける場が提供されたことに、深く感謝いたします。

この大会でユースたちが注目を集めた山梨YMCAの「銀河鉄道の森」プロジェクトについて、皆様にご紹介したいと思います。このプロジェクトは、韮崎市 中田に位置し、中央本線が近くを走る立地から、夜の電車が銀河鉄道のように見えることが名前の由来となっています。「銀河鉄道の森」は、単なる自然体験の場ではありません。ここでは、山里再生と若者のエンパワーメントを融合させた革新的な取り組みが行われています。ユースリーダーを中心としたボランティアたちが、手つかずの山里を整備し、遊歩道づくりや森の手入れを行っています。この活動を通じて、若者たちは自然との共生や持続可能な開発について、体験を通じて学んでいます。毎月1回の定

期活動では、ワイズメンズクラブの方々による温かい食事の提供があります。これは単なる食事提供以上の意味を持ち、若者たちの心と身体を支え、世代を超えた貴重な交流の場となっています。食事を囲みながら、若者たちとワイズメンの方々語り合う姿は、まさに東日本区ワイズメンズクラブのユースエンパワーメントの理念を体現しているといえます。ここでは食を通じて多様な背景を持つ人々が集い、自己表現や交流ができる場所として、世代を超えた学びの場となることを期待しています。

山梨YMCAは、「みつかる。つながる。よくなっていく。」のスローガンのもと、これからも地域のニーズに応える活動を展開してまいります。「銀河鉄道の森」プロジェクトを通じて、若者たちの成長と地域の発展に貢献し、多くの人々に愛される場所として育てていきたいと思ひます。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。共に手を取り合い、若者たちの力を活かした地域再生の新たな形を築いていきましょう。

YMCA ニュース

10月17日(木)18:30から、「第2回みずがきの家学習会」が山梨YMCAで開催されました。この勉強会は山梨YMCAの史料展示室運営委員会がYMCAの歴史をスタッフやユースリーダーにも理解してもらおうと企画したもので、第1回が「山梨ハイY運動の原動力だったワークキャンプの盛衰」と題して、ハイYOBで山梨YMCA常議員の岩間孝吉様が講師となり7月に開催されています。

第2回の今回は、第1回を受けてユースリーダーたちがどのようにしてYMCAと出会ったか、そしてどのようにYMCAを捉え、その関係を築いているかを発表しました。ワイズメンも含め13名の参加者でした。

(情報提供:岩間孝吉様)

なお、第3回は「YMCAとワイズメンズクラブ」について、運営委員でもある仙洞田会員が担当して12月に開催が予定されています。

これからの予定

- ✓11月21日(木) クラブ役員会(山梨YMCA)
- ✓12月 3日(火) まちかどの近代建築写真展
~15日(日) (藤村記念館)
- ✓12月 4日(水) 12月例会(山梨YMCA)
- ✓12月18日(金) クラブ役員会・忘年会
- ✓ 1月11日(土) 4クラブ合同新年例会(山梨Y)
- ✓ 1月13日(月・祝) お正月を遊ぼう

お断り:温故知新～史料室の書棚からはお休みします。

役員会報告

- ▼日時:10月24日(木) 18:30~20:30
 - ▼場所:山梨YMCA
 - ▼出席者:米山・藤原・松本・渡邊・仙洞田・福田
 - ▼報告事項
 - ✓グローバルフェスタの概算会計報告(藤原)
 - ✓コーヒー販売会計報告(仙洞田)
 - ✓あずさ部部大会報告(米山)
 - ▼協議・確認事項
 - ✓11/4のYMCAバザーについて、やまなみの担当部分と準備品等の確認
 - ✓今後の例会プログラム
- 11月例会(11/6):アマチュア天文家による卓話、会場はCH談露館、会費(食事代)、準備品の確認
12月例会(12/4):会場YMCA、仙洞田会員による卓話(各地に残る教会建築)
✓2025年1月新年例会:4クラブ合同例会について
期日(1月11日・土)と会場(山梨YMCA)が変更になった旨は講師と3クラブに連絡済み、開始時間を昼(11:00頃)からに検討、会費、ケータリングの見積もり、アトラクションの検討、3クラブへの案内を12月上旬までに行うスケジュール等を協議、確認した。プログラムは過去の例会を参考にする。